

第4章

農林水産業・農山漁村の
展開方向

4つの基本施策

「The・おおいた」ブランドをつくっていくためには、生産物の安全性や品質の保証、消費者ニーズを満たす多様性、効率的な生産体制、地域資源を活用した付加価値の創造、消費者との信頼関係を確立する交流、清潔で美しい環境づくり等の様々な取組が必要です。この計画では「The・おおいた」ブランドを確かなものとするため、4つの基本施策を計画的、体系的に展開していきます。

1 消費者の心をつかむ商品（もの）づくり

消費者ニーズを的確に捉え、相対取引や市場外流通の増加等、流通の多様化に対応しながら、安全で質が高く、競争力のある農林水産物を県内外に安定的に供給できる産地づくりを進めます。

2 時代に対応する新たな農林水産業のしくみづくり

米政策改革に対応できる効率的な水田農業の展開、市場の変化に対応し森林環境を守る林業への転換、資源管理の強化と新たな地域・魚種での養殖業の推進など、新たな時代に対応する生産システムの構築を進めるとともに、これを支える担い手の確保・育成による生産構造の改革を推進します。

3 地域資源の活用と産業間の連携による ニュービジネスの創造

本県の潜在的な地域資源を活用し、農林水産業と食品加工業、住宅産業、観光産業など他産業とも連携しながら、新たなビジネスチャンスを見出すことで、地域全体に利益をもたらし、活性化につなげることを提案します。

4 県民が多面的機能を共有できる農山漁村の整備

地球資源の有限性や環境問題の重要性に対する認識の高まりを踏まえ、農山漁村が多面的機能を発揮しうよう、定住・生活環境の整備を進めるとともに、都市住民との連携関係の構築に向けた取組を進めます。

施策体系

I 消費者の心をつかむ商品（もの）づくり

1 安全・安心な商品づくり

1 安全・安心な商品づくり（P32）

2 多様な流通に対応した新たな展開

1 流通の多チャンネル化による市場競争力の強化（P34）
2 地産地消の推進（P38）

3 大量・周年の需要に応える重点品目づくり

1 米・麦・大豆（P40）
2 園芸（P42）
3 畜産（P44）
4 特用農林産（しいたけ・茶）（P46）
5 県産材（P48）
6 水産物（P50）

II 時代に対応する新たな農林水産業のしくみづくり

1 効率的で持続性のある生産体制の確立

1 米政策改革に対応できる効率的な水田農業の展開（P52）
2 市場の変化に対応し森林環境を守る林業の展開（P54）
3 資源管理の強化と新たな地域・魚種での養殖業の展開（P56）

2 力強い担い手づくり

1 中核的な担い手の育成（P58）
2 地域の組織的担い手の育成（P60）
3 新たな担い手の育成（P62）

3 支援システムの強化

1 高度技術の開発と産地・農林水産業者への技術支援（P64）
2 関係団体の機能強化（P66）
3 経営安定対策の充実（P68）

III 地域資源の活用と産業間の連携によるニュービジネスの創造

1 付加価値を高める農林水産業の新しい展開

1 新たな産業・地域連携による地域資源の活用（P70）
2 都市と農山漁村との共生・対流（P72）

IV 県民が多面的機能を共有できる農山漁村の整備

1 定住・生活環境の整備

1 農山漁村の快適な生活環境づくり（P76）
2 災害に強い環境の整備（P78）

2 多面的機能の発揮

1 農地、農業用水利施設の維持・保全（P80）
2 環境を守り災害を防ぐ森林づくり（P82）
3 水域環境の保全・再生（P86）

農業

林業

水産

おおいた農山漁村活性化戦略の主な取組

I 消費者の心をつかむ商品(もの)づくり

安全・安心で消費者や市場のニーズに的確に応える商品を創出する

1 安全・安心な商品づくり

- ① e-naおおいた農産物認証制度などによる安全・安心な商品づくり

2 多様な流通に対応した新たな展開

- ① 食品産業、外食・中食産業などに対応する商品づくり
- ② 流通戦略プランに基づく広域出荷の促進
- ③ 通いコンテナの普及やコンテナ輸送への転換などによる物流の合理化
- ④ 直販所や学校給食による地産地消の展開

3 大量・周年の需要に応える重点品目づくり

- ① 売れる米づくりと需要にマッチした麦・大豆生産
- ② 園芸戦略品目の産出額向上
(トマト、白ねぎ、いちご、こねぎ、カボス、なし、ハウスみかん、トルコギキョウ、バラ、キク)
- ③ 豊後牛のブランド力強化
- ④ 大分しいたけのブランド力強化
- ⑤ 大分方式乾燥材の増産
- ⑥ 関あじ・関さば、城下かれいに続く水産物のブランド化

II 時代に対応する新たな農林水産業のしくみづくり

新しい時代に適応できる合理的な生産構造を構築する

1 効率的で持続性のある生産体制の確立

- ① 米政策改革に対応できる水田農業の効率的展開
・米の生産額の減少をカバーするため園芸、畜産にシフト
- ② 市場の変化に対応し森林環境を守る林業の展開
- ③ 資源管理の強化と新たな地域・魚種での養殖業の展開

2 施策の集中による中核的な担い手の育成

- ① 認定農業者の中から企業的農業者(売上13百万円、所得4~5百万円)を育成
農業企業者 1,652 → 3,500人
- ② 大分の特性に応じた集落営農組織の育成 336 → 600組織
(うち集落営農法人 15 → 200組織)
- ③ 森林の管理を担う認定林業事業体の育成 33 → 40事業体
- ④ 地域のリーダーとなる中核的漁業者の育成 138 → 230人

3 支援システムの強化

- ① 県域産地づくりに向けた試験研究・広域普及指導体制の充実
- ② 経営安定に向けた価格安定制度などの支援の充実

IV 県民が多面的機能を共有できる農山漁村の整備

快適で災害に強い生活環境をつくとともに、田畑・森林・海の一体的な環境保全を行う

1 定住・生活環境の整備

- ① 農山漁村の快適生活環境づくり
- ② 治山事業などによる災害に強い環境の整備

Ⅲ 地域資源の活用と産業間の連携によるニュービジネスの創造

産業間や地域間の連携により、付加価値を高める新しい地域ビジネスを創造し、農山漁村を活性化する

1 新たな産業・地域連携による地域資源の活用

- ① 農林水産業の有機的連携
 - ・ 地域労働力の相互活用、農協・漁協・森林組合などの連携による商品開発や販路開拓
 - 森林組合の農作業受託、集落営農組織の椎茸栽培
 - サービス事業者による公的施設の管理受託
(山香町地域活性化センター、清川村農林業公社)
 - ウッドトレイ+農産物・海産物、干物+ヒノキの葉
- ② 他産業との連携によるニュービジネスの展開
 - ・ 異業種交流による商品開発・販路開拓
 - 麦と焼酎 (宇佐「西の星」、直川「むぎゆ」)
 - 米と日本酒 (玖珠九重；酒米「山田錦」)
 - (久住；低グルテリン米「春陽」)
 - 麦・大豆と味噌醤油
(宇佐市・フンドーキン醤油「こだわりの逸品 麦味噌」
中津市・富士甚醤油「丸大豆しょうゆ」)
 - 大豆と豆腐 (安心院松本地区・豆の力屋)
 - ゆずの加工 (つえエーピー「ゆずはちみつ」)
- ③ 資源循環型の連携システムの構築
 - ・ 持続可能な農林水産業のために耕畜連携、木質・有機質資源の有効利用を推進
 - ビールかす・焼酎かす・水産加工残さの堆肥・飼料利用
(サッポロビール、三和酒類(株))
 - 間伐材・廃材などの熱源利用 (太平洋セメント)
 - 間伐材・カキ殻などの魚礁への活用
- ④ 地域資源活用のための支援
 - ・ 資源活用情報の提供、異業種交流の場の設定

2 都市と農山漁村との共生・対流

- ① 交流基盤の整備と農山漁村の情報発信
 - ・ 農業文化公園、マリンカルチャーセンターを拠点とした交流施設のネットワーク化
- ② 農林水産分野の総合的なツーリズムの推進
 - ・ 農村と漁村の連携、修学旅行の受入など観光産業との連携
 - 地域イベントとの連携
(臼杵市「竹宵」、竹田市「竹楽」)
 - 地域文化財や温泉など観光資源との連携
(豊後高田市露地区「旅庵路臺」)
 - ツーリズムの進化と深化
(佐伯「すし列車」、安心院「ツーリズム大学」)

2 多面的機能の発揮

- ① 農地、農業用水利施設の維持・保全
- ② 環境を守り災害を防ぐ森林づくり (適期間伐と保安林の維持)
- ③ 水域環境の保全・再生

「The.e.おおいた」ブランドの確立

元気で魅力ある農山漁村・知恵を出し汗をかいてもうかる農林水産業の実現

農業

林業

水産